HOKUYO NEWS

崔鐘太氏　国民勲章「無窮花章」勲一等 受章記念祝賀会

崔鐘太氏（平山善博氏）（昭和46年卒）は、昨年、韓国の国民勲章「無窮花章」勲一等を受章しました。

2022年11月29日　神戸クラウンプラザホテルにて各界の著名人の方々や関係者の方々をお招きし祝賀会が盛大に開催されました。

崔鐘太氏は北陽高校、大阪商業大学を卒業後、韓国青年会議所（KJC）韓国商工会議などにて会長職など重席を歴任し、現在はYamazenグループ代表取締役会長、大山ゴルフクラブ理事長を務めております。
商工会議所会長時代には数多くの協力認定書（姉妹結縁）などの基本合意書の調印など経済界に尽力し、その多くの功績が韓国政府に認められての受賞となりました。

関西大学北陽高校サッカー部ＯＢ会においては、今年より会長から名誉会長となり引き続き後進育成にご尽力いただいております。

祝賀会では、サッカー部ＯＢ会より花束とともに記念のユニフォームを寄贈いたしました。

関西大学北陽高校サッカー部　OB会

HOKUYO NEWS

北陽サッカー部で培った「根性」で今後も頑張ります！

平成15年度卒業　上野　晋一

北陽高校サッカー部卒業、お見送り芸人しんいちです。

TVに出るまでは下積み時代が長く、食べるものが買えず水だけを飲んで寝た夜もありました。

芸人だけで生活をしていくには時間がかかりましたが、R-1グランプリ2022という賞レースで優勝という結果が出せたあとは、芸人の仕事一本で食べていけるようになりました！

それは、北陽サッカー部で培った「根性」があったからだと思っています！スポーツ番組に北陽サッカー部のジャージ、ユニフォームを着ていくと「北陽なんだ！？」と驚かれ、そこからコミュニケーションが取れたり人脈が広がったりと本当に北陽で良かったと思う事が多々あります。

北陽高校の卒業生として、芸能界での自分のポジションを確立し、今後も頑張りますので引き続きお見送り芸人しんいちを宜しくお願い致します。

HOKUYO NEWS

昭和48年度卒　塩田龍彦さん執筆「栄光の腹番号物語」

購読希望の方は

2022 年 3 月 5 日　昭和 49 年卒　サッカー部 OB の塩田龍彦さんが高校時代を綴った「栄光の腹番号物語」が完成いたしました。

サブタイトルは「ノノさんの高校サッカー日本一獲ります！計画」

高校サッカー日本一を獲る人生をこの夢にかけた「ノノさん」こと野々村監督と青春をささげた教え子たちの壮絶な物語です。

北陽高校サッカー部　日本一を目指した青春時代を熱く綴った渾身の一冊です。

自費出版のため書店で購入はできません。送料込みで1冊　1,650 円です。

編集後記

2013年より同窓会会長として同窓会に尽力いただきました岡田彰布氏が今期より再び阪神タイガース監督就任となり『ARE』が今年の流行語大賞になりそうな勢いです。北陽同窓としても大変喜ばしいNEWSであり『ARE』を期待しております。
今年の卒業生は2004年度の生まれ　岡田彰布会長が前回阪神タイガース監督に就任された年に生まれた世代であり、2020年4月入学と同時に緊急事態宣言が発令された学年です。
血気盛んな高校生活に活動制限を余技なくされた三年間です。皆様　卒業おめでとうございます。また関西大学北陽高校同窓会に入会おめでとうございます。世代を超えて共通できるのは母校の校歌です。「漲る水の大淀川の光も清く曳くところ・・・・」北陽卒の証です。皆様と一緒に校歌を歌える日を楽しみにしたい。

広報委員会

関西大学北陽高等学校同窓会
同窓会事務局　〒533-0006 大阪市東淀川区上新庄1丁目-3番-26号
TEL.06(6328)5964(代)　FAX.06(6320)3032　Email:info@hokuyo-ob.jp

関西大学北陽高等学校
同窓会ホームページはこちらから
https://www.hokuyo-ob.jp

発行／関西大学北陽高校同窓会　編集／同窓会広報委員会　発刊／2023.2.18
2023 vol.45

北陽同窓

Hokuyo alumni annual letter

CONTENTS

寄稿 ―発刊によせて― ……01
交流会・定期代議員会が中止になりました ……03
寄稿
同窓会決算／予算／役員・顧問 ……04
同窓会だより―同窓生の近況― ……05
母校だより―在校生のトピックス― ……07
コロナ禍の課外活動　クラブ表彰・進路
関東支部だより ……13
同窓会協力基金について ……14
HOKUYO NEWS ……裏

新しい一歩を踏み出すため、ともに頑張りましょう。

関西大学北陽高等学校
同窓会会長 岡田 彰布
（昭和51年卒業）

卒業おめでとうございます。関大北陽での3年間で様々なことを学び、経験したと思います。新しい一歩を踏み出すためのステップアップとなるその貴重な時間には、これからの人生において、かけがえのない財産になります。

私は今年、皆さんと同様に新たな挑戦に臨みます。昨年10月、2008年以来となる阪神タイガースの監督に復帰しました。

阪神は、私が以前監督を務めていた2005年を最後にリーグ制覇から遠ざかっています。私は近年、野球評論家として戦いぶりを見てきましたが、実力がありながら勝ちきれないシーズンが続いており、OBとして歯がゆい思いが募っていました。今回は愛着ある古巣を常勝軍団にするという強い決意を持ち、再びユニホームを着ることを決めました。

母校では何事にも挑戦していくチャレンジャー精神が伝統として受け継がれています。私も「チーム関大北陽」の一員として球界の強敵に挑み、「アレ」を目指します。ともに頑張りましょう。

「いのちの大切さ」を感じた年、私たちがまず変わらなければ。

関大北陽高等学校・中学校前校長
「NPO法人つながるいのち」副理事長
同窓会名誉顧問 鈴木 清士

2022年ほど 、世界中の人が「いのちの大切さ」を感じた年もなかったのではないでしょうか。3年を経過したコロナの問題、そして ウクライナの問題は、私たちに「命はなぜ大切なのか」と同時に「いのちより大切なものは何か」を突き付けられたような感じがしています。

私たち人間を含めて、あらゆる生き物は他の生きものと共存共栄しています。私たちはゲノム（遺伝情報）の中にウイルスを取り込んで共生することにより、現在のヒトとして進化してきました。そして、新型コロナウイルスの登場により、新たな進化の過程を迎えている、といえます。

一方、人間同士の世界においてもまた「相互依存と相互扶助のネットワーク」の中で生かされてきました。しかし、ロシアとウクライナとの関係を持ち出すまでもなく、今大切なネットワークが破壊されつつあります。

あらゆる共存共栄と共生がうまくいくためには、私たち人間がまず変わらなければなりません。そういう観点で見れば、コロナの問題もウクライナの問題も同じ根っこの問題だと気付きます。人間が変われば新たな進化を遂げ、実行できなければ人類は退化していく。これもまた、大自然の摂理だといえます。

3年ぶりに関大北陽の卒業式に出席できるかどうか、オミクロンの勢いしだいでは微妙になってきました。

出席が叶わなくても、卒業生の門出を陰ながら、そして心から祝福し、皆さんが世界に向けて羽ばたいてくれることをお祈りします。

ポストコロナを見据えた教育活動

関西大学北陽高等学校・中学校
校長 田中 敦夫

同窓会の皆様には、平素より本校の教育の充実、発展のためにご理解とご支援をいただき厚くお礼を申し上げます。

年が改まり、2023年がスタートしました。「1日の計は朝にあり、1年の計は、元旦にあり」と言います。英語でも「元旦は、今年の鍵である」New year's day is the key of the year.という言葉があります。今までは、コロナ禍の中、先の見えない不安な世の中が続き、未来のことを考える環境が整っていませんでしたが、ようやく以前の日常に戻る日が近づいています。

「その日に為すべきことは、朝に計画を立て、その年に為すべきことは、元旦に計画を立てるべきである」。物事は、最初が肝心だということです。ポストコロナを見据え、改めて気持ちも新しく、一年の"節目"に計画を立て、教育活動を行っていきたいと考えています。

2022年度、高校のコース改編を行い、探究学習と国際理解教育を推進してきました。2023年度は、探究学習を各教科の指導に落とし込み、問題解決能力を育成していきます。また、2年生からスタートするグローバルクラスにおいては、留学生の受け入れやベトナム・シンガポール研修などを通して、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を目指します。

今後も、北陽高等学校のこれまでの良き伝統を踏襲しつつ、関西大学北陽高等学校・中学校として、さらなる発展に向け努めてまいりますので、皆様のご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

未来に繋ぐ～Restart～、2023年度に向けて

関西大学北陽高等学校・中学校
PTA会長 由佐 高明

同窓会の皆様におかれましては、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素はPTA活動にご支援、ご協力をいただき、皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、今年度は、2年間、募集をしていなかったPTA活動での組織の要となる学級委員の募集を復活しましたが、PTA活動をこれまで経験されたメンバーがほとんどいない状況のもと、不安の中でのスタートとなりました。

今年度も昨年同様、多様化するコロナウィルスの影響により、様々な制約を受けてのPTA活動となりましたが、新しい生活様式が定着したことで、世間の動きも変化し、活動の場も徐々に増やしていくことが出来ました。

ただ、保護者が子供たちと一緒に参加出来る体育祭、文化祭での活動が出来なかったことが残念ではありますが、2023年度こそは、今年度に活動出来た経験を活かし、これまでの旧北陽高校の歴史と伝統を、未来に繋げれるよう、皆様とともに、これからの様々な変化にも対応しながら、より親しみやすい関大北陽PTAを目指したいと考えておりますので、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

また、同窓会の皆様方の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

2022年度関西大学北陽高校同窓会

第45期定期代議委員会 は開催中止となりました。

2022年4月に開催を予定しておりました第45回定期代議委員会は、新型コロナウィルスのため引き続きの中止となりました。

2021年度決算報告、2022年度予算案を代議員90名に郵送し、各議案を承認とさせていただきました。

2020年に緊急事態宣言が発出されて以来度重なる発出があり、その状況の中で3年が経とうとしております。最近ようやく少し落ち着いたようにも感じられますがまだまだ油断できません。

しかし、今年こそは皆様と直接顔を合わせてお互いの元気な様子を喜び合える機会となることを願っております。

池田　勝一　（昭和49年卒）

関西大学北陽高校卒業生としての誇り

私は昭和58年、北陽高校に入学しました。

バレーボールは特に興味があった訳ではないのですが、監督の横田先生から熱心に勧誘して頂き、自宅での家族を交えての面談では、育成方針等を丁寧に説明頂き、同級生の応援もあり、バレーボール部に入部を決意しました。その日の事は一生忘れません。横田先生有難うございました。

バレーボールはテレビでしか見たことが無く、ルールもわからない中で、不安ながらも、練習に参加しました。中学までは野球をしていたので、基礎体力には自信があったのですが、最初は練習についていくだけで精一杯でした。

また、早朝から夜遅くまでの練習で横田先生からは「基本を忠実に」を徹底的に指導頂き、初心者の私を我慢強く使い続けて頂き、全国レベル校への遠征や練習試合を通して経験を重ねて、徐々にレギュラーとしてチームに貢献できるようになり、目標であった全国大会の夢は叶いませんでしたが、キャプテンに抜擢頂き、近畿大会に出場できるまで成長させて頂きました。

中学までは想像できないくらいの、内容の濃い充実した三年間を家族の協力のもと、北陽高校バレーボール部で過ごすことができました。

大学進学に際しては、横田先生や部長の亀田先生に御尽力頂き、バレーボールを継続する事ができ、チームの中心選手として四年間やりきり、大学卒業時には実業団チームからもお声を掛けて頂けるまでに成長致しました。

また社会人やクラブチーム等でもバレーボールを続け、大阪府代表で全国大会に2度出場し、４０歳以上マスターズ９人制でも、全国大会に出場致しました。すべての礎は北陽高校バレーボール部であることは言うまでもありません。

私には３人の子供がいますが、３人共にバレーボールがしたいと言ってくれ、地元のVリーグジュニアチームに入会し、私もスタッフとして小学生・中学生の男女チームの指導をしています。北陽魂を今の子供達に伝えて行ければと思ってます。

現在、長男が関西大学北陽高校の２年生でバレーボール部に所属し、藤原先生指導の下、全国大会出場を目指し日々頑張ってます。コロナ禍に入学し様々な制約が多い中、高校生にしか経験出来ない事を感じて、一生懸命頑張っている姿を誇らしく思います。

親子二代で北陽高校バレーボール部になり精一杯協力しています。

中学生まで野球少年だった私が、高校から始めたバレーボールに現在も携わり、わが子までバレーボールに取組んでくれるとは思いもしませんでした。

横田先生からお誘い頂けたお蔭で、人生が変わったと言っても過言ではありません。横田先生には厳しく、諦めない気持ちを指導頂き、人としても成長させて頂きました。そしてバレーボールの楽しさを教えて頂けたのは、先輩・同期・後輩など周囲の方々でした。

今後も親として、OBとして、全ての面において、関西大学北陽高校を応援していきます。

頑張れ関西大学北陽高校！　頑張れ関西大学北陽高校バレーボール部！

平井　勝也
（昭和61年卒）

2021年度 決算報告

自　2021年4月 1日
至　2022年3月31日

収入の部

(単位　円)

科　目	予　算	実　績	摘　要
前期繰越金	5,813,044	5,813,044	
会　費	3,770,000	3,770,000	377名
会員･会報協力金	350,000	383,000	協力募金253,000　バナー広告130,000
代議員会会費	13,000	0	
雑収入(受取利息)	30	39	預金利息
総　合　計	9,946,074	9,966,083	

支出の部

(単位　円)

科　目	予　算	実　績	摘　要
会　議　費	10,000	1,920	役員会・委員会ボトル茶ほか
代議員会会議費	25,000	0	案内等の発送費は通信費に計上
人　件　費	240,000	240,000	事務局
交　通　費	200,000	51,780	役員・委員会・事務局
消耗品費	20,000	19,091	コピー機及び保守料、封筒
通　信　費	500,000	411,625	会報発送費、電話料金、切手、葉書
慶　弔　費	800,000	607,187	卒業祝贈呈品、課外活動副賞
支　部　費	50,000	110	関東支部活動費
雑　費	20,000	16,541	振込手数料他
予　備　費	1,000,000	1,000,000	体育館建替基金（特別教育活動費）
小　計	2,865,000	2,348,254	
会報発行費	1,000,000	1,025,475	会報5,000部、HPリニューアル
組織･事業運営費	100,000	0	
小　計	1,100,000	1,025,475	
合　計	3,965,000	3,373,729	
次期繰越金	5,981,074	6,592,354	
総　合　計	9,946,074	9,966,083	

2022年度 予算(案)

自　2022年4月 1日
至　2023年3月31日

収入の部

(単位　円)

科　目	予　算	摘　要
前期繰越金	6,592,354	
会　費	3,720,000	372名Ｘ10,000（卒業予定者）
会員･会報協力金	350,000	
代議員会会費	10,000	20名Ｘ500(懇親会参加者)
雑収入(受取利息)	30	預金利息
総　合　計	10,672,384	

支出の部

(単位　円)

科　目	予　算	摘　要
会　議　費	10,000	会議用茶等
代議員会会議費	25,000	
人　件　費	240,000	事務局手当
交　通　費	200,000	各委員会等交通費
消耗品費	20,000	コピー機及び保守料、封筒、事務消耗品等
通　信　費	500,000	会報発送費、電話料、切手、葉書等
慶　弔　費	800,000	卒業祝、課外活動(優秀賞・団体奨励賞)副賞
支　部　費	50,000	関東支部活動費
雑　費	20,000	振込料他
予　備　費	1,000,000	特別教育活動費
小　計	2,865,000	
会報発行費	1,000,000	会報発行、HPリニューアル費
組織･事業運営費	100,000	
小　計	1,100,000	
合　計	3,965,000	
次期繰越金	6,707,384	
総　合　計	10,672,384	

役員･顧問

任期　2022年4月1日～2023年4月30日まで

役　職	氏　名	卒業年	担当		
会　長	岡田　彰布	昭和51年卒			
会長代行	池田　勝一	昭和49年卒	総務	委員長	
副会長	原　強	昭和51年卒	関東支部	支部長	
副会長	中本　導男	昭和53年卒	組織事業	委員長	
副会長	梶川　聖二	昭和57年卒	広報	委員長	ホームページ担当
会　計	田村　大作	昭和59年卒	広報	委員	
理　事	山内　直行	昭和42年卒	広報	委員	
理　事	中尾　明	昭和50年卒	広報	委員	
理　事	西森　務	昭和60年卒	組織事業	委員	
理　事	西澤　宏之	平成4年卒	組織事業	委員	
理　事	八木　知之	昭和52年卒	組織事業	委員	
理　事	中川　智	平成3年卒	広報	委員	
監　事	阪田　裕弘	昭和41年卒	組織事業	委員	
監　事	城島　末明	昭和40年卒	広報	委員	
	澤田　渉	本校職員	総務	委員	事務窓口　同窓会事務局担当(週一日)
	今東　翼	本校教員	広報	委員	学校窓口　新任
名誉顧問	田中　敦夫	本校学校長			
名誉顧問	鈴木　清士	本校前学校長			
名誉顧問	金澤　勇	本校元教頭			

※同窓会役員は、2023年4月改選予定です。

01 北陽岡田会　監督就任パーティ

2023年1月21日(土)　ANAクラウンプラザホテル大阪にて北陽岡田会監督就任パーティが開催され、岡田彰布監督を囲み今秋の「アレ」を心から願う北陽野球部関係者、関大北陽同窓会関係者、恩師、先輩、同級生、後輩、ご友人の皆様たちとそのご家族の皆様が集合いたしました。岡田彰布監督は各テーブルをまわり言葉を交わしていました。

直筆サイン入りの豪華賞品が当たる抽選会。
そして、トークショーではここだけのお話のプロ野球情報で会場は大爆笑！
岡田彰布監督から 2023年「アレ」に挑む意気込みを熱く語っていただきました。

2004年の阪神タイガース監督就任時より毎年1月に開催されている北陽岡田会、北陽岡田会新年パーティと名称を変え、今年は監督就任記念パーティ。
来年はぜひ「アレ達成祝勝パーティ」にと代表幹事の鳥居敦さんより熱いエールと来年の皆様の再会を約束し宴は幕を閉じました。

02 還暦野球37会
松岡監督を囲んで甲子園

恩師松岡監督と還暦ナイン

2022年12月2日(金)今年還暦を迎える大阪の元高校球児達60名が聖地甲子園球場に集結した。
「還暦野球37会」同時時期に大阪で甲子園を目指した元球児の還暦祝いの親睦試合甲子園大会です。
参加校は近大附、上宮、浪商、PL学園、明星、桜宮、花園、そして北陽　東軍、西軍に分かれてのゲームです。
私たち今年還暦の北陽野球部OBは春、夏連続で甲子園出場した学年です。42年振りにこの地に還ることに感無量でした。恩師　松岡英孝監督も高知より駆けつけいただき　私たち教え子たちと終始笑顔で監督として1累側ベンチで甲子園を満喫いたしました。

ちゃんちゃんこ代わりの赤いユニフォーム
胸にはSannanakai　袖にはHOKUYOのマーク
さすがに若い頃のように身体は動かないがこの日ばかりは、高校球児に戻り元気いっぱいの一日でした。
その後の懇親会では、37会の出身校の垣根を越えての交流がはかられた。

昭和56年卒　池　友久

03 サッカー部OB 真っ赤なユニで　祝　還暦

2022年11月19日(土)今年還暦を迎える北陽サッカー部OBがJグリーン堺に集合いたしました。
私たち昭和56年卒業の学年は、一年生時に高校総体優勝、二年生、三年生時に大阪代表として全国大会出場をした学年です。高校最後の公式戦は、伝説のキックオフシュートの選手権での敗退です。同級生は、20名が卒業し当日は、15名のOBが集合し久々に赤いユニフォームを身に着けプレイを楽しみました。胸には、入学年の1978　HOKUYO文字です。
思いきり汗を流した後は、Jグリーン堺クラブハウスにて懇親会　後にガンバ大阪、セレッソ大阪で活躍し若くして先立たれた久高友雄氏は同級生であり、北陽時代の想い出話で盛り上がりました。

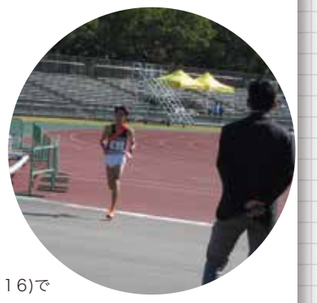
昭和56年卒　亀井　康之

還暦を迎えた北陽イレブン

北陽OBも多数在籍する堺蹴鞠団の皆様と

母校応援記
2022年高校駅伝 大阪大会(男子) 応援記

2022年高校駅伝大阪大会(男子) 応援記　昨年に引き続き11月05日(土)、応援に行って来ました。
山内先輩(元北陽高教諭・現同窓会役員)、阪田先輩(現同窓会役員)と10時に 長居駅参集。阪田先輩は早々と駅で待っておられ恐縮。いつも早いのです。
ヤンマーフィルド長居及び周回りコースの競技場辺りに、母校の関係方々が居られ、米川修二元監督と陸上部OBの方々に笑顔で一礼。この日は雲一つない風も微風でこの上もない天候でした。選手な方には少々暑かったかもしれません。午前中、行われている女子を観戦しながら長居公園近くの飲食店で早い昼食を済ませ、午後から開催の男子応援に所定の場所(競技場から出てくる選手が観れる場)へ行き陸上競技部OBの方々と予想を聞きながら雑談していると、近くに米川和弘監督が来られ
今年チームの特徴を聞かせて頂いた。
スタート！第一走者の選手が競技場を数周回り、競技場の門近くに寄りながら見ていると母校の選手が100mほど離してトップで出て行った。第二走者も1位をキープ。その後は他校との接戦で応援にも力が入ったが、コロナ化ゆえ静かに、気持ちは熱く応援に徹し、最終七走者のゴールインでは本年も昨年と同様1位清風高(2:06:51)、2位大阪校(2:07:53)、3位関大北陽(2:08:16)でした。



しかし母校陸上競技部はここ十数年間は優勝を狙えるチームとなり、いつも期待をしながら観戦しています。
2023年も楽しみです！

昭和45卒業　北川　徹 (3年C組)

卒業生のご活躍を募集しております!!

関西大学北陽高校同窓会では各分野で活躍している卒業生からの投稿を募集しております。何かの賞を受賞した、書籍を出版した等、様々な情報をお待ちしています。仕事関係の教育・研究・企業での活躍などに限らず、趣味、ボランティアなど幅広く紹介いたします。新聞や雑誌に紹介された記事なども募集しております。自薦、他薦で結構ですので、積極的な応募を期待しております。なお、原稿の長さ、写真の枚数に特に制限はありません。何か卒業生に関する情報がございましたら、ぜひ同窓会事務局までお知らせください。

詳しくは、同窓会HP
関西大学北陽高校同窓会
検　索

『素晴らしい学校をより素晴らしく!』をモットーに

この度、生徒会長に就任しました、奥田莉月です。生徒会に入るのは初めてですが、昨年から生徒会に入っていた人たちに支えられながらも、生徒会メンバーと協力してマニフェスト達成できるように頑張っていきます。

生徒会での活動では、学校生活についての『生徒会新聞』の発行をはじめ、行事ごとのサポートや運営を行なっています。

新型コロナウイルスの影響で従来の形での学校行事が行えていない中でも、最大限みなさんが楽しめるように様々な活動、提案をしています。

他にも、学校と地域との連携としてボランティア活動に参加したり、美化委員と校外清掃を行なったりしています。

また、生徒の意見を取り入れるための意見箱を設置し、生徒の希望を叶えられるよう頑張ります。

今年の生徒会では『素晴らしい学校をより素晴らしく!』をモットーに精一杯頑張っていきます!

一年間よろしくお願いします。

関西大学北陽高等学校
生徒会長　奥田　莉月

2022年度 同窓会課外活動表彰

個人の部

学年	クラス	氏名	クラブ名	大会名	種目	結果
3	E	髙尾　良生	ラグビー部	第77回国民体育大会ラグビーフットボール競技	ラグビー	準優勝
3	F	吉川　大智		第77回国民体育大会ラグビーフットボール競技	ラグビー	準優勝
3	H	山本　琉己		第77回国民体育大会ラグビーフットボール競技	ラグビー	準優勝
3	J	張　　剛士		第77回国民体育大会ラグビーフットボール競技	ラグビー	準優勝
3	F	柿木奏之介	水泳部	第90回日本高等学校選手権水泳競技大会	50m自由形	6位
1	I	山本　　空		第45回(2022年度)全国JOCジュニアオリンピック夏季大会	100m背泳ぎ	8位
				ジャパンオープン２０２２	50m背泳ぎ	出場
2	F	神野　陽香		ジャパンオープン２０２２	50mバタフライ	出場
2	I	松本　奏来		ジャパンオープン２０２２	50m平泳ぎ	出場
3	F	田中　洸希	陸上競技部	令和４年度全国高等学校総合体育大会	110mH	準決勝進出
3	F	大前　友乃		令和４年度全国高等学校総合体育大会	三段跳	６位
3	G	湯田陽平兵		令和４年度全国高等学校総合体育大会	３０００m障害	８位
2	E	前田　理湖		令和４年度全国高等学校総合体育大会	400mH	出場
2	J	七枝　　直		令和４年度全国高等学校総合体育大会	5000m	出場
2	J	新山　創大		令和４年度全国高等学校総合体育大会	走高跳	出場
1	F	高田　知佳		令和４年度全国高等学校総合体育大会	走高跳	２位

団体の部

クラブ名	大会名	種目	結果
創作ダンス部	令和四年度ダンスドリル秋季競技大会	JAZZ部門	出場
サッカー部	令和４年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会	サッカー	ベスト16
水泳部	第90回日本高等学校選手権水泳競技大会	400mリレー	7位
	第45回(2022年度)全国JOCジュニアオリンピック夏季大会	400mメドレーリレー	6位
陸上競技部	令和４年度全国高等学校総合体育大会	（男子）4×400mR	出場
	令和４年度全国高等学校総合体育大会	（女子）4×400mR	出場

個人の部 受賞者には、同窓会より表彰、副賞といたしまして図書券(5,000円)を、
団体の部 受賞団体には、活動費各50,000円を寄与いたしました。

進路状況

2021年度　のべ合格者数

関西大学 243名

学部名	合格者数	学部名	合格者数	学部名	合格者数
法学部	29	政策創造学部	24	システム理工学部	19
文学部	21	外国語学部	1	環境都市工学部	10
経済学部	29	人間健康学部	15	化学生命工学部	9
商学部	27	総合情報学部	23	合計	243
社会学部	30	社会安全学部	6		

国公立大学

＊ 既卒生を含む

大学名	合格者数
神戸大学	1
九州大学	1*
金沢大学	2
大阪公立大学	2
大阪教育大学	1
奈良県立大学	1
合計	8

主な私立大学

＊ 既卒生を含む

大学名	合格者数	大学名	合格者数	大学名	合格者数
関西大学	243	桃山学院大学	14	摂南大学	17*
関西学院大学	5*	大阪医科薬科大学（医）	1*	兵庫医科大学	1
同志社大学	5*	福岡大学（医）	1*	関西外国語大学	7*
立命館大学	1*	関西医療大学	1	京都外国語大学	3*
青山学院大学	1	京都産業大学	8	大阪工業大学	5*
中央大学	1	近畿大学	16*	大和大学	6
神戸学院大学	9	甲南大学	3		
追手門学院大学	13	龍谷大学	8		

近畿大学合格者数には、医学部医学科の合格者2名（現役1名、既卒生1名）を含む。

体育系クラブ特集

スポーツコース対象クラブをはじめ、ひとりひとりが高い目標を持って部活動に取り組んでいます。体育館や運動場など、設備面でも選手の活躍を後押ししています。

サッカー部

「下剋上」

2022 全国総合体育大会出場 BEST16

「下剋上」2022年度、関大北陽サッカー部はこの一言を胸に刻み今年一年を始動しました。これまでにサッカー部はインターハイと選手権大会合わせて35回全国大会に出場しています。全国でもトップクラスの成績を残してきた高校でしたが、私が一年生の頃は大阪BEST64、二年生の時はBEST32となかなか結果を残すことができませんでした。

今年の一月、新チームが始動してスタートミーティングが行われました。そこで、私は今年のチームのテーマを「下剋上にしよう!!」と仲間たちに言いました。北陽が全国常連校だったというプライドを捨てて、一からやり直しどんな相手に対しても下から喰らいつく。そんな意味を込めてこのテーマにしました。その影響も少しはあったのか、謙虚・直向きに取り組む事により今年のチームは例年に比べ負けないチームとなりました。また、全員がその意識になったことにより北陽サッカー部がコンセプトにしている全員サッカーを体現できていました。そして迎えたインターハイ大阪予選。昨年のBEST32の壁を破ると北陽の快進撃は続き大阪大会決勝まで駒を進める事ができました。決勝では惜しくも履正社高校に敗れ下剋上は失敗しましたが、準優勝で全国大会出場の切符をつかみました。この悔しさを全国で返すと誓い大阪予選を終えました。

7月24日待ちに待った全国大会が始まりました。一回戦、二回戦と順調に勝ち上がることができ次を勝てばBEST8。チームは最高の状態で挑みましたが三回戦では優勝候補であった大津高校（熊本県）に1-3敗退という結果で全国大会を終えました。徳島県では、OB・保護者・北陽サッカー部を愛する方々のご支援や、熱い応援があったからこそ躍動することができました。本当にありがとうございました。悔しさや複雑な思いはありましたが私たちは関大北陽サッカー部に新たな歴史を作ることができたと思います。

私たちの代で大阪優勝をするという目標は達成出来ず、3つ目の星を胸に付ける事はできませんでしたが、自慢の後輩たちなら大阪の頂点を取り、自分たちを超えてくれると信じています。これからも北陽サッカー部に温かいご声援、よろしくお願いします。

サッカー部　主将　大平直哉

2022年度 大阪高校春季サッカー大会

●4月30日　予選3回戦　　関大北陽　７－０　山本
●5月 8日　予選4回戦　　関大北陽　４－１　芥川
●5月22日　予選5回戦　　関大北陽　１－０　大阪学院
●6月 5日　予選6回戦　　関大北陽　０－０　大産大高
●6月11日　準決勝　　関大北陽　１－０　興国
●6月12日　決勝戦　　関大北陽　１－２　履正社

全国高等学校総合体育大会サッカー競技

●7月24日　1回戦　　関大北陽　１－０　山形中央
●7月25日　2回戦　　関大北陽　５－０　徳島科学技術
●7月26日　3回戦　　関大北陽　１－３　熊本大津

ラグビー部

『一蓮托生』～死ぬも生きるも全員一緒～

運命を仲間で共にする。チームで決めた今年のテーマです。底より深いどん底からの挑戦、この言葉から始まりました。創部十年目にして五回目の全国大会大阪府予選決勝、初の花園出場に向けて全員で挑みました。

雨の中の決勝戦、描いていた試合展開にならない時間もありましたが最後まで身体を張って戦ってくれました。コロナ禍で活動が制限される辛い時期もありましたが、仲間の為によく我慢してくれました。目標としていた全国大会花園出場には一歩届きませんでしたが、また一つ歴史を積み重ねました。

三年生の皆さん、有難うございました。この繋がりを大切にまた新たな始動です。

『いちご一会 とちぎ国体』準優勝　本校から大阪府代表選手 ４名選出

令和４年１０月２日～１０月６日の期間に栃木県でおこなわれた、いちご一会とちぎ国体。三年ぶりの開催となった国民体育大会に本校から４名の生徒が選ばれました。

残念ながら決勝戦では福岡県代表に１点差で敗れ、準優勝となりましたが本校の生徒は現地で大阪府代表として大活躍していました。

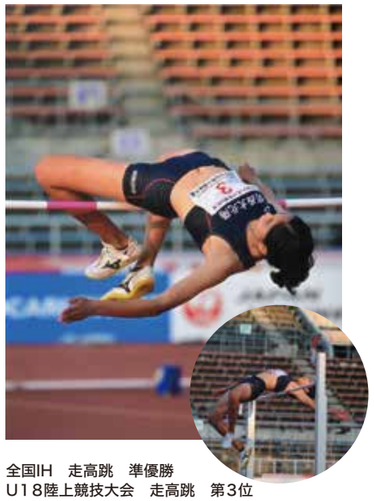
E組 髙尾 良生 / F組 吉川 大智 / H組 山本 琉己 / J組 張 剛士

●10月2日　対 東京都　22-15　●10月3日　対 長崎県　72- 0
●10月5日　対 神奈川県　42-5　●10月6日　対 福岡県　17-18

最終結果：大阪府代表 国民体育大会ラグビー少年の部 準優勝

陸上競技部

全国IH・U18陸上競技大会・国民体育大会　３名が入賞



全国IH　走高跳　準優勝
U１８陸上競技大会　走高跳　第３位
国民体育大会　走高跳　準優勝

高田　知佳（1年）

初めての全国IHは、あまり緊張することなく楽しんで試合に臨むことができました。自己記録更新で入賞が決まった時は、とても嬉しかったです。来年度は、表彰台の一番高い場所に登れるように努力をしていきます。

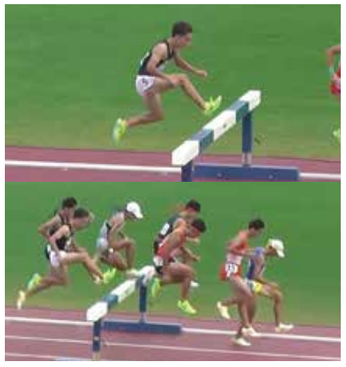
今年度は、徳島県で行われた全国IHに１７名、愛媛県で行われたU１８陸上競技大会に７名、栃木県で行われた国民体育大会に１名が出場しました。全大会において表彰台に登る入賞者が出ており、近年連続入賞者輩出を継続することができました。

大阪高校総体で男子総合優勝し、確実にチーム力が向上していると感じる１年間でした。

全国IH　三段跳　第６位

大前　友乃（3年）

私は８月に行われた全国IHに三段跳で出場させていただきました。目標としていたメダルには届かず６位という結果でしたが、全国の決勝という舞台で全力で戦えたことはとてもいい経験になりました。この悔しさをバネに大学では、日本インカレや日本選手権で活躍し応援される選手になります。



全国IH　3000m障害　第８位

湯田　陽平兵（3年）

全国IHに3000m障害で８位入賞し、目標であった表彰台に登ることができました。入学当初はコロナの影響で大会が削減されたりと思うような取り組みができませんでした。その間、自主的にフォームの改善や筋力トレーニングに取り組んできた成果がでました。大学では日本インカレで優勝できるように努力していきたいです。

男子バスケットボール部

インターハイ予選3位・ウィンターカップ予選２位
最後のブザーがなるまで、全力で戦ってくれました！

今年度は「王座奪還」「全国ベスト８」を目標にチームはスタートしました。インターハイ予選では、決勝リーグまで危なげなく勝ち上がることができましたが、決勝リーグでは、阪南大学高校に６点差、大阪桐蔭に１点差とわずか及ばず悔しい敗戦となりました。

３年生最後の大会、ウィンターカップ予選でのリベンジを誓い、夏秋とハードな練習に臨みました。ウィンターカップ予選では準決勝で、春に敗れた大阪桐蔭と対戦しました。序盤から主導権を握り、９１―７５でリベンジを達成することができました。終始気持ちのこもったプレーで、相手を圧倒する姿にとても感動しました。そして、決勝戦では留学生擁する阪南大学高校とウィンターカップ出場をかけて戦うことになりました。前半は一進一退の攻防で、３４―３４の同点で後半に突入しましたが、後半厳しいディフェンスからの速攻で一気に流れを掴み、９点のリードを奪うことに成功しました。残り10分、良い雰囲気で迎えたのですが、留学生のパワフルなプレーにファールが重なり、逆転を許してしまいました。

そこからもう一度立て直しを図り、あと一歩というところまで追いつきましたが、１本届かず、７３－７５で惜しくも負けてしまいました。

全国出場は叶いませんでしたが、春に敗れた大阪桐蔭を圧倒し、決勝では最後の最後まで諦めずに戦い続け、相手を追い詰めた選手たちの姿はとても誇らしく素晴らしいものでした。そして、何よりコロナ禍で保護者やOBの皆様の前でなかなか試合をすることできなかった中、おおきにアリーナ舞洲のメインコートで大阪エヴェッサとの共催試合という形で、素晴らしい環境をいただき、皆様の前で試合ができたことが大変嬉しく思います。今年度の悔しさをバネに、新チームで全国大会の舞台に立てるように挑戦していきたいと思いますので、引き続き応援よろしくお願いいたします。

水泳部

全国大会に続々入賞！実りの多い年でした！

水泳部は、8月15日から18日に、高知県のくろしおアリーナにて実施されました第90回日本高等学校選手権水泳競技大会に20名の生徒が出場し、男子50m自由形において、柿木奏之介（3年F組）が6位入賞いたしました。また、男子400mリレー(川中、柿木、渡辺、桑島)において7位に入賞いたしました。

次に8月22日から26日まで東京辰巳国際水泳場で行われました、第45回全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会に13名が出場しました。この大会では男子400mメドレーリレー(山本、西田、桑島、渡辺)において6位入賞いたしました。

他にも、国民体育大会の大阪代表に川中鼓太郎(1年J組)が選出され、リレー2種目で入賞しました。また、JAPAN OPENに山本空(1年I組)、神野陽香(2年F組)、松本奏来(2年I組)が出場いたしました。

本年度は大阪の高体連の試合の一部で保護者の入場ができるようになるなど、徐々に本来の環境に戻っている部分がある一方で、普段の練習や試合の際など、まだまだ多くの制約も残っております。

このように困難が多い状況でも、結果を残すことができたのは、生徒達が支え合い、諦めず頑張ってきた成果であると思います。また、各ご家庭や色々な方のサポートがあったからこその結果だと思います。たくさんのご支援・ご声援ありがとうございました。これからも更に頑張っていきますので、引き続きご声援よろしくお願いします。

文化系クラブ特集

芸術、科学、文化と幅広い分野に渡って活動しています。日々のクラブ活動の成果を、文化祭など学内の行事の他、広く外部の大会やコンテストで発揮しています。

ジャズバンド部　仲間に感謝の気持ちでいっぱい

新型コロナウイルスの影響により、活動の機会が減ってしまい、思うように練習が出来ない時もありましたが、ジャズバンド部で過ごした約2年半は、自分自身が成長でき、そして仲間と一緒に音楽を作り上げる喜び、素晴らしさを知ることができました。いつも支えてくれた仲間には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

写真部　賑やかな部活

今年度の写真部には沢山の新入部員がやってきました。部長として新入部員達とやっていけるか不安でしたが、校外での撮影会を通してとても仲良くなれました。人数が加わることで、私が入部した頃よりとても賑やかで楽しい部活に変わっていきました。来年度も沢山の部員が入り、写真部が更に賑やかになってほしいと思います。

3年F組　中村　咲彩

釣り部　釣り部の活動

今年度の部員は、1年18人, 2年1人, 3年5人　合計24人で活動しています。北陽中学校出身の1年生が、友人を誘ってたくさん入部しました。今年は3年ぶりに東京湾で開催されたバリバスカップへ参加をしました。関東を中心に100名以上の中学高校生が参加した大会です。団体戦では総合第4位に入賞しました。

将棋部　将棋部の活動

今年度の部員は、1年7人, 2年1人, 3年5人　合計11人で週4回活動しています。藤井5冠の活躍で将棋人気は続いていることもあって、1年生の部員が7人入部しました。今年もコロナの影響で、将棋を気軽に指すときはできませんがみんなで仲良く楽しく活動をしています。

美術部　仲間に感謝の気持ちでいっぱい

美術部は様々な画材で、描きたい世界を追求しつつ作品を制作しています。

描くこと、作ることが大好きな人達の集まりです。油絵や水彩画などの絵画はもちろん、ろうけつ染めや漆芸、七宝などの工芸の他、石膏のような立体にも挑戦できます。部員各々が互いを尊重し合う仲の良いクラブです。

顧問　中村・尾持

茶道部　茶道部での1年

以前の日常が戻りつつある中、飲食を伴う茶道部でも活動ができるようになってきました。活動回数は限られてはいましたが、大切な一回一回の活動を新たに部員となった4人を加え7人で行うことができ、とても充実した1年となりました。

オープンスクールでの部活紹介では、来てくださる方に楽しんで頂くためにはどうすればよいかを部員一人ひとりが考え、アイデアを出し合い工夫しました。コロナ禍で思うように活動できない期間もありましたが、茶道の根本である「おもてなしの心」は確実に後輩へと受け継がれています。

2年A組　澤田　陽莉

料理部　料理部の活動

料理部に所属した3年間で、お菓子や外国の食べ物作りなど幅広く料理に取り組むことができました。文化祭で手作りマドレーヌの販売は出来ませんでしたが、最後の部活でマドレーヌをたくさん作り思い出となりました。コロナ禍で従来の活動は出来ませんでしたが、一回一回を楽しみ、家では出来ないことを数多く体験できました。

3年B組　戎野　真緒

ESS　コミュニケーション力を高め、異文化理解を深める

私たちESSは、顧問の森元先生、ジェサ先生、エミリー先生の指導のもと、3年生4人、2年生3人、1年生9人の計16名で活動しています。普段はカードやボードゲームなどを用いたコミュニケーション活動が中心で、文化祭ではMy FavoriteとEnglish Triviaをテーマに作品展示を行いました。中国出身の私は日本語が苦手なのですが、みんなとお互いの文化を分かち合いながら、楽しく英語と日本語に取り組みました。クラブでの思い出を糧に、これからも頑張っていきたいと思います。

3年A組　彳 宇鴻

歴史研究部　「歴史にふれる」部活

今年度の歴史研究部は、5月に飛鳥で現地調査を、8月には福井へ合宿に行き、歴史に触れることができました。また文化祭では、制作した飛鳥と福井の展示物の掲示を行いました。

3年A組　中川　椋介

コンピュータ研究部　「e-sportsへの挑戦」

私は中学校の頃にコンピュータ部に所属しており、高校ではどの学部に所属するか悩んでいましたが、同じクラスの友達に誘われて入部しました。私たちの学年はコロナの影響で入部時期が遅れたこともあり、クラブに馴染めることができるか不安でしたが、頼れる先輩方のお陰でそのような不安はなくなりました。2年時ではたくさんの後輩が入部してくれたこともあり、クラブをまとめることが大変でした。また、設備などの問題でe-sportsの活動に苦戦をしました。そして、3年次では問題を解決するため同じ学年の友達や顧問の水田先生と何度も話し合い、e-sportsの大会に出場することを目標に掲げ行う種目を変更しました。その結果、私は『ポケモンユナイト』というゲームの大会に出場することができました。同じ学年の友達や後輩達と練習して、クラブ全体で一つの目標を持って活動できたことは良い思い出です。良い結果を出すことはできませんでしたが、e-sportsの活動の大きな一歩を踏み出せたと思います。今まで本当にありがとうございました。

3年G組　筒井 太一

放送部　放送部の活動

私たちはコロナ禍の中あまり部活をすることは出来ず、放送部としての活動は体育祭などの、行事での司会進行しか出来ませんでした。ですが、行事での仕事はとても楽しいものでした。たくさんの人の前で司会進行をするのはとても緊張しましたが達成感のあるとてもいい仕事です。

フォークソング部　「青春の1ページ」

自分がフォークソング部に入部した初めの頃は右も左も分からないような状態だったのですが、顧問の檀先生をはじめ、先輩方が機材や設備について教えてくださいました。自分が後輩を持つ立場、そして、クラブをまとめる立場になったころ、コロナが流行りクラブ活動が制限され、思うような練習ができない中、規模を縮小して、ライブを行いました。規模は小さいながらも、自分自身初めての体験をし、胸の鼓動が治まらなかったことを今でも覚えています。バンドのメンバーと揉めて喧嘩したことも自分の青春の1ページです。文化祭では大勢の生徒の前でライブをし、トラブルも有りましたが、拍手をもらったとき、自分は目に涙を浮かべており、フォークソング部で音楽が出来て良かったと思いました。フォークソング部の活動を通して、勿論、自分より技術や知識が豊富な後輩は沢山いましたが、自分が部長として今何が出来るか、何をするべきか、そして、後輩に何を残せるかを考え、行動する力を得ることが出来ました。

最後に、檀先生、部活の皆に感謝したいと思います。“ありがとうございました”

3年B組　中村　聖

吹奏楽部　吹奏楽部の活動

一昨年度から北陽中学校吹奏楽部に加え、高校でも創部され、中高合同で活動しています。三年前までは学校行事や地域イベント、コンクールやマーチングコンテストを中心に活動していましたが、新型コロナウイルスの影響で活動が制限されてしまいました。今年度はその制限も少し軽くなり、活動の機会が増えました。一つ一つの活動を大切にして一生懸命練習しています。応援よろしくお願いします！

1年A組　池田　音々

関東支部だより

3年間にわたり 定例支部総会及び懇親懇談会を 開催できない事態に遭遇

新型コロナウイルス感染症は、2019年12月初旬に第1例目の感染者が報告され、あっという間に世界的な規模で流行してから、すでに3年が経過しました。しかしながら、感染状況は、大きな波のごとく、世界の感染者数が大きく減少したかと思えば、すぐに大きく増加したりしており、終息の気配はいまだ感じられない状況にあるといえます。

2019年12月初旬までがあまりにも安全すぎてむしろ異常な世界であり、新型コロナウイルス感染症に悩まされている現況が正常な世界であると錯覚するような日々を3年間も過ごして参りました。しかも、新型コロナウイルス感染症に人々が怯え、経済が疲弊するなか、一国による他国への軍事侵攻により、世界の平和秩序が大きな危機に曝されるなど、我々の日常がいかに危うい基盤の上に成り立っていることも思い知らされることとなりました。

恩師　野々村先生と

新型コロナウイルス感染症のために、令和4年度も、関東支部恒例の定例支部総会及び懇親懇談会の開催を断念せざるを得ませんでした。この「関東支部だより」により、同窓生の皆さんに関東支部同窓生の現況をお伝えすることができないことが何よりも残念でなりません。

3年間にわたり定例支部総会及び懇親懇談会を開催できない事態に遭遇し、会長や副会長に大阪から遠路東京までお越しいただき、母校を同じくする世代を超えた関西大学北陽高校卒業生が1年に1度、懐かしい学生時代の出来事や近況につき語り合うことのできる機会がいかに大切で、その機会に接することができる時間がいかに幸せなことであるかを痛感いたしております。

ここ数年同じことの繰り返しとなりますが、令和5年度こそは、新型コロナウイルス感染症が収まり、以前のように定例支部総会・懇親懇談会で関東支部の同窓生の皆さんの元気なお姿を拝見させていただけることを楽しみに申し上げております。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染症の流行のなかにありましても、関東支部の同窓生の皆さんはじめ、すべての関西大学北陽高校の同窓生の皆さんがお元気でご活躍され続けられますことを心より祈念申し上げております。

関西大学北陽高等学校同窓会
関東支部 支部長　原　　強（昭和51年卒）

今年こそ再開を願う関東支部メンバー（写真は2018年懇親会）

今回ご案内により、ご逝去され、ご家族からご連絡いただいた卒業生の方々（敬称略）

昭和35年卒	昭和42年卒	昭和50年卒	昭和51年卒	昭和57年卒	昭和59年卒
竜田　洋	清原　忠和	白藤　稔	上村　寿博	賀集　靖	増田　勝利

facebook

関西大学北陽高校同窓会は SNSでも情報を配信中！！

同窓会のイベントや、報告の配信。
母校のNEWS配信などをおこなっております！

いいね！押してね！

同窓会年度協力募金にご協力ありがとうございました。

卒業年度順・敬称略　2022年12月17日現在

卒業年度	氏　名	卒業年度	氏　名	卒業年度	氏　名	卒業年度	氏　名
元教員	金澤　勇	昭和41年卒	濱田　康雄	昭和45年卒	國府島勇三	昭和55年卒	小西　浩文
元教員	鈴木　清士	昭和42年卒	寺田　賢作	昭和45年卒	北川　徹	昭和56年卒	森本　哲郎
昭和33年卒	石川　隆一	昭和42年卒	竹谷　芳夫	昭和45年卒	野山　清彦	昭和56年卒	仮　千次
昭和35年卒	竜田　洋	昭和42年卒	松本　純一	昭和46年卒	佐藤　栄司	昭和57年卒	高木　宣宏
昭和37年卒	前田　昌昭	昭和42年卒	山内　直行	昭和46年卒	口村　茂	昭和57年卒	梶川　聖二
昭和37年卒	須上　勝久	昭和42年卒	米川　修二	昭和46年卒	笹邉　公彦	昭和59年卒	田村　大作
昭和37年卒	村田　正明	昭和42年卒	馬場　利男	昭和49年卒	池田　勝一	昭和60年卒	西森　務
昭和38年卒	岩本　博義	昭和42年卒	山崎　孝夫	昭和50年卒	中尾　明	昭和62年卒	松井　勝博
昭和39年卒	往田　雄三	昭和43年卒	飯川　隆司	昭和51年卒	星野　勝	平成元年卒	太田黒　博
昭和40年卒	城島　未明	昭和43年卒	吉田　稔弘	昭和51年卒	原　強	平成２年卒	入江　励
昭和41年卒	阪田　裕弘	昭和43年卒	中野　道男	昭和51年卒	岡田　彰布	平成15年卒	森　浩彬
昭和41年卒	増田　正彦	昭和44年卒	鮫島　輝明	昭和53年卒	中本　導男	不　明	木下　知行

同窓会協力募金のお願い

関西大学北陽高校同窓会では、同窓会活動の維持のため、会員による年度協力募金制度を導入しております。

現在の同窓会の主たる活動資金は、年度協力募金と同窓会終身会費（卒業時）となっておりますが、少子化の影響もあり、今後、減少傾向が予測されます。このようなことから、同窓会会員相互の親睦、母校支援を維持し、今後も更に充実、発展させていくために、卒業生による資金協力をお願いすることとしたものです。皆様のご理解とご賛同のもと年度協力募金制度を定着させ、同窓会活動を発展させていきたいと考えておりますので、何卒、ご支援の程よろしくお願いいたします。

つきましては、できるだけ多くの同窓生にご賛同をいただきますようお願いいたします。

■郵便振込　ゆうちょ銀行をご利用の場合
■口座番号　00990-2-94658
■加入者名　関西大学北陽高等学校同窓会　年度協力募金

■ゆうちょ銀行以外の金融機関をご利用の方
■銀行名　ゆうちょ銀行　■金融機関コード　9900
■店番　099　■店名　〇九九 店（ゼロキュウキュウ店）
■口座番号　0094658
■口 座 名　関西大学北陽高等学校同窓会　年度協力募金

関西大学北陽高校同窓会ホームページ

https://www.hokuyo-ob.jp

ホームページバナー広告の募集について

関西大学北陽高等学校同窓会では、同窓会運営財源確保と同窓生相互のコミュニティ等を図ることを目的として、卒業生が在籍する企業・団体を対象に、バナー広告の掲載を承っております。掲載料は、年間10,000円と非常にお安く設定いたしましたので、ぜひ、旧友との仕事情報の交換等にご利用ください。

1.バナー広告掲載料　10,000円 1年間掲載　5,000円 半年間掲載

2.掲載場所

トップページ以降の左メニュー下部にバナー広告が掲載されます。（ランダム10社分、その他は広告掲載企業一覧ページが設けられています。）バナー広告（ホームページ内に表示される広告画像もしくはテキスト）から広告主の情報を掲載したOBマイページにリンクします。詳細は「関西大学北陽高校同窓会」で検索　https://www.hokuyo-ob.jp

関西大学北陽高校同窓会ホームページバナー広告協賛企業

■ 株式会社関西ホームライフ	昭和46年卒	佐藤　栄司 様	■ アイワホーム株式会社	昭和42年卒	辻上　利市 様
■ 株式会社トータル企画	昭和57年卒　硬式野球部	高木　宣宏 様	■ 株式会社　寺田美研	昭和42年卒	寺田　賢作 様
■ 鳥居整骨院	昭和51年卒　硬式野球部	鳥居　敦 様	■ 森岡ボクシングジム	平成3年卒	中川　智 様
■ 有限会社日新設備	昭和56年卒	仮　千次 様	■ 株式会社　幸　建設	昭和60年卒　硬式野球部	西森　務 様
■ 株式会社入谷商会	昭和35年卒	岡田　勝男 様	■ 有限会社アメリカ堂	昭和43年卒	飯川　隆二 様
■ 入江電気興業株式会社	平成2年卒	入江　励 様	■ 有限会社さわや	昭和41年卒	濵田　康雄 様
■ 株式会社A・S	平成15年卒　硬式野球部	森　浩彬 様	■ ピーバイエス株式会社	昭和57年卒　サッカー部	梶川　聖二 様
■ 有限会社　薩　摩	平成元年卒　サッカー部	太田黒　博 様			